

今日から始める農場のチェックリスト No. 1

外部から農場への病原菌侵入を防ぐために管理点検を

牛への病気感染を防ぐには、農場の衛生管理レベルの向上が欠かせません。農場の現在の管理を点検して、「病気を農場内へ持ち込まない」ために対策ができていないか○×で確認してみましょう。

*衛生管理区域:家畜に直接関連する区域。畜舎、飼料タンク、倉庫、生乳処理室、たい肥化施設等

○チェックリスト

No.	チェック項目	判定	解説
1	衛生管理区域を設定しており、牛等を飼養している農場区域内への関係者以外の立入を制限している		外部者がむやみに畜舎、牛に接触し、衣服や靴に付着した病原菌が農場へ入り込む危険性があります。
2	関係者以外立入禁止「看板」を設置しており、訪問者が立入制限区域設置をはっきりわかる		
3	衛生管理区域と設定目的を作業員全員が理解している		農場主1人が病原菌侵入防止に取り組んでも、他の作業員の理解がないと病原菌を持ち込んでしまう危険性があります。
4	農場出入口に消石灰散布を行っており、車両進入時にタイヤ消毒されている		消石灰帯はタイヤ円周に満遍なく付くよう4m以上の長さが必要です。農場内に立入る車両のタイヤに付着した病原菌が農場へ入り込む危険性があります。訪問者には車両の消毒を呼びかけてください。
5	農場立入車両は必ず消毒してから農場へ進入するよう促している		
6	畜舎毎に長靴洗浄消毒設備(踏み込み消毒槽等)があり、訪問者立入時は、畜舎に泥汚れのない、消毒された長靴を着用させている		長靴はふん尿汚れ、病原菌、泥と直接接触します。外部者が畜舎に立入る前の長靴洗浄、消毒は必須です。
7	畜舎を出入りする関係者には農場専用の衣服長靴を使用させている		訪問者専用の長靴等を用意し、立入時に靴を履きかえてもらうことは病原菌持ち込みを防ぐ有効な策のひとつです。

○殺菌剤の消毒効果

消石灰は空気中の水分と反応し高pH(pH12程度:アルカリ)となって殺菌効果を発揮しますが、その後pHは低下します。長時間空気に触れている、または降雨等により濡れた後乾燥すると殺菌効果はなくなりますので、1週間毎、または降雨後に畜舎出入口への再散布、消毒槽資材の交換を行ってください。

塩素系殺菌剤は各薬剤の用法、用量を守って使用してください。



消石灰は固まったら効果はありません



消石灰は薄くてもムラなく散布を



長靴洗浄用ブラシも毎日洗って消毒を

普及センターでは今年度のJAだよりのテーマを「今日から始める農場のチェックリスト」とし、様々な分野のチェックリストをご紹介します。